

浄法寺 木林事務所 月記

編集・発行
 岩手北部森林管理署
 浄法寺森林事務所
 二戸市浄法寺町
 小池2-1
 TEL0195-38-2033



アキラ



ウルシ科ウルシ属ウルシ…
 って読むだけで痒くなりそ
 うですが、日本や中国に生息
 するこの木は、縄文時代から
 人々の生活に利用されてき

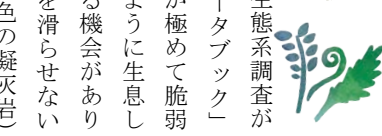
木林のスポットライト



稲庭岳地域では、昨年より二戸市による生態系調査が行われています。今回は「いわてレッドデータブック」Aランク（分布が極限しており、存続基盤が極めて脆弱な種）に指定されている植物が現地でのように生息しているか、調査者の方に案内していただける機会がありました。その場所は奥地の沢中、流れで足を滑らせないように登っていくと、突然グリーンタフ（緑色の凝灰岩）の見事な断層が現れました。ここは断層上部の土壌から染み出した水が常に表面を湿らせていて、コアニドリ



コアニドリ
 （上小阿仁村HPより）
 の好む環境になっていきます。割れ目のわずかな砂土にしがみついて生息しており、初夏には白い小さな兜状の花を見せてくれるそうです。小さな小さな命ですが、見落とすことなくみんなで大切に守っていききたいですね。



【うるし蜂蜜】

思わず「え、採れるの？」と聞きたくなりますが、鹿兒島県で以前から作られており、それを参考に二戸市の折戸養蜂場さんが採取し始めたのが2009年のこと。ウルシの開花は6月20日頃から10日前後、アカシアとクリに挟まれた短い期間に採取するため、人もハチも大忙しです。国有林の分収造林内でも採取していて、巣箱からミツバチが慌ただしく出入りしていました。ちなみにミツバチ1匹が一生の間に採取できる蜜は、なんとスプーン1杯分！



忙しくブン！ブン！飛び回っています。

平成二十五年水無月

暑いですね！読んで字の如く雨の少ない月で、植栽した苗木の状態が気になる日々でした。前回は「伝統的な」苗木と植栽についてお話ししましたが、今回は「伝統的な」苗木「コンテナ苗」についてご紹介します。え？「ヘンテコ苗」ではないですよ。平たく説明すると、苗を畑に植えて育てるのではなく、製氷皿で水を作るように専用の容器で育てる方法です。持ち運びや貯蔵がラクなこと、また苗木の規格が一定なので、専用器具と組み合わせると効率良く植栽できることが特徴です。実はこのシステム、既に北米や豪州では一般的だとか。国内で先進的に取り組んでいるのは九州と宮城県ですが、この浄法寺地区の国有林でも一昨年から実証試験を進めています。この方法を探ると従来の30%以上も時間短縮できるとの結果も出ています。一見皆さんには関係ないお話に聞こえるかもしれませんが、高効率・低コストの造林システムが確立されれば、伐採した後何も植えずにいる「ハゲ山」の解消に役立ちます。つまり、地域の景観を守ることや山地災害防止に繋がっていくのです！このように地域のために率先して先行事例を作っていくのも国有林の大事な役目です。



スギコンテナ苗



器具を使って植付



↑ウルシの花、咲きました

↑ウルシの花、咲きました
 とうるしの花、咲きました
 【購入できるお店】二戸駅物産センター「なにやーと」

